

平成25年9月25日

もっと現場を知る！職員短期派遣研修報告書

所属名	西部農林振興センター 江津家畜衛生部	氏名	徳永清志
派遣先 団体名	NPO法人「緑と水の連絡会議」		

① 研修の日時

第13回国際ワークキャンプ開催期間（平成25年9月9日～24日）のうち、以下の日程で実施

日 程	午 前	午 後
9月9日（月）		17:00～ 国際ワークキャンプ開講式
9月13日（金）	三瓶山姫逃池植生保全活動	
9月16日（月）		グループホーム「七色館」交流会
9月19日（木）		かじ山荘デイサービスセンター 交流会
9月21日（土）		22日大田市民国際フェスティバル 準備
9月22日（日）	大田市民国際フェスティバル	大田市民国際フェスティバル

② 研修の内容

国際ワークキャンプに参加した外国人及び日本人の若者（学生及び社会人）12名による、各種ボランティア活動に係る運営スタッフとして参加メンバーと共に活動した。

また、当方が楽器演奏できることから、16日、19日及び22日のイベントでは、演奏者としても参加した。

③ 研修の感想

今回は、2週間の国際ワークキャンプ期間中に、環境保全、福祉増進、子供の健全育成、まちづくりの推進等、様々な活動が盛り込まれており、ワークキャンプ参加者と地域の各受け入れ団体双方にメリットがあるように感じた。

参加した若者たちは、非常にフレンドリーで、報告者が参加した一連の活動メニューに対して、前向きに且つ自然体で取り組んでいた。特に、ディサービス等におけるお年寄りとのふれあいの場では、ごく自然に会話を交わし、非常に好感が持てた。

本研修を通じて、NPOとは、ひとつの団体が様々な切り口で活動を展開していることが認識できた。

④ その他特記事項

派遣先の団体によって違いがあると思うが、同法人では、時間的にも、参加度合い的にも、あくまでも研修生の都合に合わせるというスタイルであったため、ほぼ業務に支障なく参加することができた。参加した日には、既存のメニューをより効果的にするために、自らの経験、知識等を積極的に取り入れてもらった。・・ある活動への「研修」であると同時に、その活動の「参加者」として積極的に参加すべきと考える。

(注1) 研修日時・内容等がわかる資料があれば、添付してください。

(注2) 研修終了後、報告会を開催します。